

「ホテル・サイレント」

作・有吉朝子

《あらすじ》

終戦後の日本、打ち捨てられたような海辺のホテル。台湾生まれの女主人メイは、行方不明になった夫を待ち続けている。嵐の日、波乱に満ちた彼女の人生を映画化しようと、落ちぶれ気味の映画女優が現れた。更には、濡れの女が一人……。三人の女性によって、伏せられていたメイの本当の人生が明らかになる。

《登場人物》

女性4名（四〇代が2名、三〇代が1名、二〇代が1名）

男性1名（四〇代が1名）

磯崎美子（劉美麗・リュウメイリン）

四〇代。台湾生まれ、ホテルの女主人。（メイと表記）

磯崎七海（いそざきなみ）

二〇代。メイの娘。

磯崎健介（いそざきけんすけ）

四〇代。メイの夫。

大河内由美恵（おおこうちゆみえ）

三〇代。ホテルの女性客。

鴨川玲子（かもがわれいこ）

四〇代。映画スタア。

《場所》

一九五〇年代前半。打ち捨てられたような海沿いのホテル。早春。

溶暗。

部屋の中央に古ぼけた小ぶりのラジオが一つ。テーブル、椅子などに、一部チリよけのカバーがかけられている。

どしゃ降りの雨。

雷鳴。

玲子、メイの手をとってかきくどいている。

玲子
メイ

だから全部よ。一切合切何もかも、
ですけど私には…

玲子

急におしかけて悪かったわ。でも生半可な気持ちじゃない。

メイ

お話できることは何も(無い)…

玲子

告白するって言ったら？ 私が先に。

メイ

鴨川様が？

玲子

さあ聞いて！ 私の全てを。

玲子、華やかにコート脱ぐ。

玲子

なぜあなたの物語が私に必要なのか、この話をすれば全て
承知してくれるはず。でもこれは重大な秘密でもあるのだ。
だから絶対に漏らさないでちょうだい、いいわね。

柱時計が三時を知らせる。

玲子

三日前、うちの撮影所のさる大物監督が他所の映画会社に
引き抜かれちまって、夏に公開が予定されていた純愛物の
シャシンの急遽ボツになった、ついでに半年と二日続いた
私達の結婚生活も。ペア。

メイ

ペア？

玲子

メイ

玲子

そのシャシンの主演女優はこの私、鴨川玲子。
映画を拝見したことはありません。

ありがとう。「構わないわ。」あたし所長にそう言った。「新
しい監督とホンを用意してちょうだい。恋に身を焼く女な
ら、私どんな物語でも完璧に演じて見せますわ。」…ところが、
肝心かなめのそのホンが見つからない。克蘭クインは
一週間後、なにもこれもからつきしなつてないの。そ
したら今朝の新聞にこの記事を見つけた。(切り抜きを見せ
る)「ホテル・サイレント、新たな出発―愛する夫に代わ
って守り続けたクラシックホテル。栄光の歴史に今、幕が
降ろされる」。これよ、
それこそなつてませんわ。

メイ

何が？

玲子

この記事です。よくお読みになつて。「ホテル・サイレント」
を閉めるなんて私、金輪際言つてないんですから。

メイ

(取り上げて読む)「女主人の名前は磯崎美子。台湾名はり
ユウメイリン。親しい泊まり客は、彼女をメイと呼ぶ。その
愛に満ちた教養ある人生の持ち主はしかし…」

玲子

その先です。

メイ

「…しかし、まるで日本古来の仏像のように厳かな笑顔で、
ホテル閉館についての質問に対し、沈黙を続けるのだった。
けれど私はそこに、強い決意の光を見逃さなかったのだであ
る。」

メイ

何をお感じになろうと勝手ですから、放つて置いたんです
よ。

玲子

放つておいた？

メイ

思い込みですよ、記者の方の。

玲子

この辺りを大手が再開発するつて…

メイ

売る方もいますが、うちは一切。
ホテルを守り抜こうつてわけ？

玲子

ホテルを守り抜こうつてわけ？

メイ

玲子

メイ

玲子

どんなにお金を積まれても、でもこの、「愛に満ちた」ってところは？

愛よ。台湾と日本、海峡を越えた愛。私が何より欲しいのはそこ、聞きたいのは、リュウメイリンという台湾女性の、一途な愛についてなの。情熱的な恋愛に決まってる。だってふた親は賛成した？ あなたが日本に、海を越えて嫁いで来ちゃうなんてことを。

大げさですわ、ご存知でしょう？ 日本が戦争に負けるまで、台湾は日本国の植民地だったんですよ。当時、私の国籍は日本。日本人が国内を移動するようなものです。学校で教えられたから言葉だつて十分に話せたし、女学校でも行事の時は紋付。お茶やお花の稽古だつてございました。日本に来て戸惑うことなんて…

（反論しようとして）でも…

ええでも、両親は許しませんでした。私は劉家の「養われた嫁」でしたから。

「養われた嫁」？

新婦仔（シンブア）とか童養媳（トンヤンシー）と言って、台湾の伝統的な習慣です。幼い頃、実の両親の家を出て劉家に入りました。ゆくゆくは劉の息子のお嫁さんになる約束です。私が五歳の時でした。

五歳？

夫と決められた人は八歳。それからずっと劉の家で、劉家の将来の嫁として育てられました。

じゃあ、結婚された今のご主人とは…

磯崎は、養ってくれた父の取引相手でした。ある日、うちへ数人の方と食事に。その時初めて会いました。

彼はあなたを一目見て、たちまち激しい恋に落ちた。

…。（微笑んでいる）

玲子

メイ

しかしメイリンには婚約者がいる。ああ残酷な運命、この悲劇…

そうでしょうか？

遮るものがあればこそ、想いは募りますわ。

というところ？

磯崎は私を諦めませんでした。

いい、いいわ、命懸けの恋、死に物狂いの愛。壁が高ければ高いほど、男は登ろうとして生爪を剥がし、堀が深ければ深いほど、女は渡ろうとして泥まみれになる。

養父母が承知する訳もありませんし、イギリスへ留学していた夫になる人も、船で戻ってくることになりましたね。帰ったら台北の鉄道ホテルで挙式、と決まりました。私は花嫁衣裳と共に部屋へ閉じ込められ、実の父母と養父母の両方から、厳しく監視されました。ある夜、見張り番をしていた実の母が居眠りをした隙に、劉家の屋敷を出て、それ以来一度も戻っておりません。真夜中の庭にクチナシの花が匂っていたのを、今でも思い出します。

愛し合う二人にとつて、台湾と日本を隔てる海峡は決して恋を阻むものではなく、むしろ祝福し、未来へと押し出してくれる奇跡の海原だった。

日本に来てすぐ、磯崎の両親が経営するこのホテルで、結婚式を挙げました。数年後、大東亜戦争が始まってからも、磯崎は政府の仕事で内地と台湾を行き来してましたの。終戦の前後もあちらにいたようです。悪いことに戦後、磯崎の父と母とが相次いで亡くなりました。

あなたはたった一人で義理のご両親を看取り、ホテルを切り盛りし、夫の帰りを待ち続けている…

ピアノの音が聞こえる。

玲子 この音は？

娘です。今年、音楽大学を卒業するんですよ。(ラジオを示して)このラジオ、娘が戦前のピアノコンクールで賞を取った時、仕事先の台湾から、夫が大事そうに抱えて持ってきたんです。全国放送されたんですよ、娘の演奏が。それで記念にラジオを買って。

玲子 (ハンドバックからメガネを取り出してかける) ちよいと珍しい形ね。

夫は「フォルモサラジオ」と言っていました。

メイ ヘエフォルモサ…。

玲子 あの時代、手に入れるのにどれだけ苦労したでしょう？

「さあ、みんなでラジオを聴こう」ってその戸口に現れた夫の誇らしげな様子、娘の喜ぶ顔…。

玲子 (感動している) いい話ねえ。

メイ (ラジオを愛おしそうに撫でながら) 戦争が終わって十年。

磯崎はもう亡くなったと言う人もいます。敗戦国の日本人か捨てて、台湾に戻れとも言われました。

玲子 でもあなたはここを動かない。

メイ ええ。

磯崎さんが帰ってくると今でも、

メイ 信じています。

玲子 疑うことは？

メイ ありません。

玲子 根拠もないのにな？

メイ 必要ないわ、根拠なんて。あの人への愛さえあれば。

玲子 (メガネを取る) 決まり、決まりよ、決めました。

メイ 何を？

玲子 鴨川玲子の主演映画よ、最新作よ、夏の目玉企画よ。タイト

玲子 メイ

ルは「海原に祈る愛」。目指すのはキネマ旬報第一位。明日、さっそく監督と所長を連れて来る。シナリオは監督が書くの。ここがホテルでおあつらえ向きでもんよ。缶詰になれば、あなたから二四時間話が聞けるってわけ。そうだ宣伝部に言って、制作発表の準備を急がせなきゃ。女優風情が越権行為って、また叩かれるわ。(笑って) かまうもんか。私まだ何も。

心配しないで、記者のさばきは会社でするから。あなたはモデルとして完璧。にっこり仏様みたいに笑っていたらそれでいいの。

メイ 戸口をノックする音が聞こえる。

メイ ちよつとお待ちになつて。

メイ、戸口を開けに行く。

玲子 (それに向かつて) お構いなく、私もう帰っちゃまうから。

メイ まあ大変、さあどうぞお入りになつて。

玲子 メイに促されて、大河内由美恵が入ってくる。

傘は持っているが、骨がいたんで使い物にならなかった様子。ずぶ濡れになっており、髪の毛も吹きさらされて水が滴り、まとまっていけない。

メイ 今、拭くものを持ってきますから。

メイ、奥に入る。

玲子 あなた、ずぶ濡れじゃない。

由美恵 傘が壊れて…（玲子を見て）あれ、もしかして、
玲子 え？

由美恵 鴨川玲子、さん？

玲子 ええ、鴨川です。

由美恵 すごい…まさか映画の女優さんに会えるなんて。

玲子 ありがとう。あなた、お名前は？

由美恵 大河内、大河内由美恵です。

玲子 大きな河って書く、あれ？

由美恵 それに内側の内。よく拝見したんですよ戦前。

玲子 あらそう戦前…

由美恵 台湾の映画館で。

玲子 台湾？

メイ、戻ってくる。

メイ どうぞ使ってください。

由美恵 突然ごめんなさい。土砂崩れで電車が止まっちゃって…

メイ 土砂崩れ？

由美恵 東京方面の電車は、少なくとも明日にならないと動かないって…

玲子 なんですって？ 冗談じゃない困るわよ。きつちり今日

中に帰るって、あたし所長に啖呵きって出てきたんだか

ら。（立ち上がって）駅員に話つけてくる。（と、出ていこ

うとする）

鴨川様、

メイ （立ち止まって）何？

玲子 まずお電話された方がよろしいんじゃないでしょうか？

メイ 会社に。

玲子 それもそうね。

メイ あの先の談話室にございます。

玲子 借りるわ。

玲子、出ていく。

驚いちゃった。

メイ え？

由美恵 だって、鴨川玲子。

メイ ああ。

由美恵 すごいのねえ、この辺で映画の撮影か何か？

メイ いいええ。

メイ ここに泊まってるの？

由美恵 違いますの。なんていいいますか、お一人で気ままにふら

つと寄られたというか、

メイ へええ、おしのびってやつ？

由美恵 まあそんなところなんでございましょうねえ。

メイ へええ。

メイ なのにあいにくのお天気で…、まあ気づきませんで。と
にかく、コートをお脱ぎになって。

以下続く。